

目標①: 農地の利用集積を促進

事業名	県事業名	地区名	事業実施主体	計画期間内の総事業費	主な事業内容
農地整備事業 (経営体育成型)	県営経営体育成基盤整備事業	栗原 他12地区	岐阜県	2,695,706	区画整理工 用排水路工 等
農地整備事業 (農業基盤整備促進事業)	県営農業基盤整備促進事業	高須輪中海津 他12地区	岐阜県	677,963	暗渠排水工 畦畔除去 等
農村整備事業 (農村集落基盤再編・整備事業)	県営中山間地域総合整備事業	阿木 他6地区	岐阜県	1,623,984	暗渠排水工 畦畔除去 等
関連事業	県営経営体育成基盤整備事業 県営農業基盤整備促進事業	紋原 他8地区	岐阜県	1,256,370	換地業務 用水路工 等

進捗状況	<p>・一部の工事において豪雨の影響により倒木被害が発生し工事用道路としていた林道が通行できなくなり、事業工期内での水路整備が困難となったこと等により、わずかに計画を下回った。</p>		
事業効果の発現状況	<p>【農地整備事業(経営体育成型)】 ・ほ場整備の実施による大区画化により、大型機械の導入が可能となる等、農業経営の効率化につながった。</p> <p>【農業基盤整備促進事業】 ・暗渠排水等の整備により、水田の乾田化が図られ、水稻・小麦・大豆の効率的なブロックローテーションが実現する等、農業の生産性向上が図られた。</p> <p>【農村集落基盤再編・整備事業】 ・地形的条件が不利な中山間地域においても、ほ場整備や暗渠排水を実施することにより営農が維持された。</p>		
目標値の実現状況	目標指標値	実績値	達成率
	効率的利用が可能となる農地面積 721haの増	714.7ha (△6.3ha)	99.1%
今後の方針	<p>・計画的に事業を進めるためには、入念な地元・関係機関協議が不可欠であり、今後の事業展開に活かす。</p> <p>・また、農業が成長産業として持続的に発展していくためには、農地集積は引き続き推進していくべきであり、4期計画においても、「基盤整備実施地区の担い手への農地集積率 50%→70%」を指標に定め、引き続き取り組んでいく。</p>		

目標②: 安定的な用水供給機能の確保

事業名	県事業名	地区名	事業実施主体	計画期間内の総事業費(千円)	主な事業内容
水利施設整備事業 (農業水利施設保全合理化事業)	県営かんがい排水事業	揖斐川以東第三期 他9地区	岐阜県	1,818,018	用水路工 用水路保全対策工 等
農地防災事業 (農村地域環境保全整備事業)	特定農業用管水路等特別対策事業	福江 他4地区	岐阜県	1,386,329	管水路工 等
関連事業	県営かんがい排水事業 県営特定農業用管水路等特別対策事業 県営水質保全対策事業	羽島5期 他57地区	岐阜県	3,431,565	用水路工 用水路保全対策工 等

進捗状況	・計画どおりの整備が完了した。		
事業効果の発現状況	<p>【農業水利施設保全合理化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した用水路やゲートを改修したことにより、農地への安定的な用水供給が確保された。 <p>【水質保全対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水路をパイプライン化したことにより、かんがい用水と家庭雑排水との分離が可能となり、農作物の被害を解消し、農業経営の安定が確保された。 <p>【農村地域環境保全整備事業(特定農業用管水路等特別対策事業)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石綿管撤去により、石綿(アスベスト)の飛散による健康被害発生の防止を図ると共に、水路の改修により、施設の機能維持が確保された。 		
目標値の実現状況	目標指標値	実績値	達成率
	安定供給が確保される農地面積 7,383haの増	7,432.0ha (+49.0ha)	100.7%
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も策定した機能保全計画に基づき効率的な補修・更新整備を進めていく。 ・また、基幹的農業用水路(約650km)の4割が耐用年数を経過している現状を鑑み、4期計画においては、「基幹的農業用水路の健全度割合 90%」を指標に定め、引き続き農地への安定的な用水供給機能の確保を図る。 		

目標③: 農地の安全性向上

事業名	県事業名	地区名	事業実施主体	計画期間内の総事業費	主な事業内容
農地防災事業	県営湛水防除事業	鶺森三郷 他4地区	岐阜県	2,568,388	機場工 導水路工 等
農地防災事業	県営ため池等整備事業	須郷池 他28地区	岐阜県	2,245,388	堤体工 取水施設工 余水吐工 等
農地防災事業	農業用河川工作物応急対策等事業	山口	岐阜県	250,133	頭首工改修 等
農地整備事業 (通作条件整備)	県営農道施設強化対策事業	鮎立 他11地区	岐阜県	957,246	橋梁耐震補強 等
関連事業	県営湛水防除事業 県営ため池等整備事業 農業用河川工作物応急対策等事業	静里 他30地区	岐阜県	1,252,736	機場工 堤体工 等

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池の改修を予定していた地区において湖面利用者との調整に不測の日数を要したこと等により、わずかに計画を下回った。 ・しかしながら、計画が未達成となった地区においても、現時点における事業推進上の問題はなく達成の目途は立っている。 		
事業効果の発現状況	<p>【湛水防除事業・ため池等整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した排水機場やため池の改修、利用されなくなったため池の廃止により、農地の湛水被害リスク等が軽減された。 <p>【通作条件整備事業(基幹農道保全対策型)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の耐震化等により、安全な流通経路が確保されると共に、地域住民の安心・安全な暮らしが確保された。 		
目標値の実現状況	目標指標値	実績値	達成率
	安全性が向上する農地等の面積 6,490haの増	6,369.6ha (△120.4ha)	98.1%
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の頻発化・激甚化する豪雨や地震等の自然災害に適切に対応するためには、農業インフラの更新・耐震・長寿命化対策を着実に推進する必要がある。 ・4期計画においても、「農業用ため池や排水機場の改修等により、計画期間内で優先的に浸水被害等のリスクを軽減する農地面積の割合100%」を指標に定め、引き続き、農地の安全性向上を図る。 		

目標④: 農村生活環境の改善

事業名	県事業名	地区名	事業実施主体	計画期間内の総事業費	主な事業内容
農村整備事業 (農村集落基盤再編・整備事業)	県営中山間地域総合整備事業 県営農村振興総合整備事業	高鷲 他34地区	岐阜県	6,579,344	農業集落道、集落防災安全施設、農業集落排水路 等
農村整備事業 (農業集落排水事業)	団体営農業集落排水事業 低コスト型農業集落排水施設 農業集落排水維持適正化事業	蛭川南部 他27地区	中津川市 他10市7町	598,619	汚水処理施設 最適整備構想 等
水利施設整備事業 (地域用水環境整備事業)	県営農村環境整備事業 (水環境整備型)	羽島用水6期	岐阜県	95,923	親水・景観保全施設 等
関連事業	県営農村環境整備事業 (小水力発電整備型)	庄川町中央用水 他9地区	岐阜県	1,399,346	小水力発電施設整備 等

進捗状況	<p>・集落道の整備において現地の詳細な調査の結果、盛土量の増加や路側ブロック積擁壁等の追加が必要となり事業工期内の完成が困難となる等、計画が大幅に下回った。</p>		
事業効果の発現状況	<p>【農村集落基盤再編・整備事業】</p> <p>・農業集落道、集落内排水路及び斜面崩壊防止施設等の整備により、安全・安心な生活環境が確保された。</p> <p>【農業集落排水事業】</p> <p>・農業集落排水施設の機能強化等により集落の快適性が維持された。</p> <p>【地域用水環境整備事業】</p> <p>・小水力発電施設整備により、農業農村振興施設等の維持管理費節減、CO2削減による環境保全が図られた。</p>		
目標値の実現状況	目標指標値	実績値	達成率
	安全性・快適性が向上する集落 176集落の増	137集落 (42集落)	77.8%
今後の方針	<p>・事業の長期化を避けるため、事業計画段階から実施内容の精査を行い、計画的に事業進捗を図る。</p> <p>・4期計画においても、地域資源を生かした農村づくりに取り組む上で重要となる、人が住み続けられるための生活環境の向上対策を実施するため、「農村生活環境の改善が図られる地区数 22地区」を定め、引き続き農村生活環境の改善を図る。</p>		

目標⑤: 耕作放棄地の発生防止

事業名	県事業名	地区名	事業実施主体	計画期間内の総事業費	主な事業内容
農村整備事業 (農村集落基盤再編・整備事業)	県営中山間地域総合整備事業 県営農村振興総合整備事業	阿木 他58地区	岐阜県	7,989,266	農業用水路、農業集落道、農道整備、ほ場整備等
農地整備事業 (通作条件整備型)	県営広域農道整備事業 県営農道施設強化対策事業 県営基幹農道整備事業	郡上南部4期 他16地区	岐阜県	3,789,830	橋梁耐震補強工 道路土工等
農村整備事業 (農道整備事業)	県営広域農道整備事業	飛騨東部2期 他1地区	岐阜県	595,902	道路土工等

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、用地補償先との対面交渉が制限されたこと等により、わずかに計画を下回った。 		
事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 【農村集落基盤再編・整備事業】 ・農業生産基盤整備により農地等が整備され、また農村生活環境整備により利便性が向上した。 【農道整備事業】 ・農道整備により、農産物輸送の効率化が図られ、さらには農業振興及び地域の活性化に大きく寄与した。 		
目標値の実現状況	目標指標値	実績値	達成率
	耕作放棄地の発生防止面積 6,636 haの増	5,800.4ha (△835.6ha)	87.4%
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・未達成となっている地区について、各種関係機関との調整を進めると共に事業完了に向け進捗を図っていく。 ・また、特に中山間地域を中心に農地の荒廃は進んでおり、新たな耕作放棄地が発生するなどの課題もあることから、4期計画においても、「中山間地域の生産基盤の整備面積 1,500ha」を定め、引き続き耕作放棄地の発生防止を図る。 		